

マイナンバーについて考えてみた。



慶應義塾大学 中村伊知哉

■私と番号

- ・ 運転免許証 ・ パスポート ・ 健康保険証 ・ 納税通知書 ・ 年金手帳
- ・ 身分証明書
- ・ 電話番号、携帯電話番号
- ・ 銀行口座、郵便貯金、簡易保険、クレジットカード
- ・ 健康管理センター、病院の診療カード
- ・ マイレージ、レンタルショップ、スポーツクラブ …

■必要性

- ・ 公的機関のもの+国民全員に付番
- ・ 税と社会保障
- ・ 公正・公平：脱税防止・給付金
- ・ 効率：行政事務コスト削減

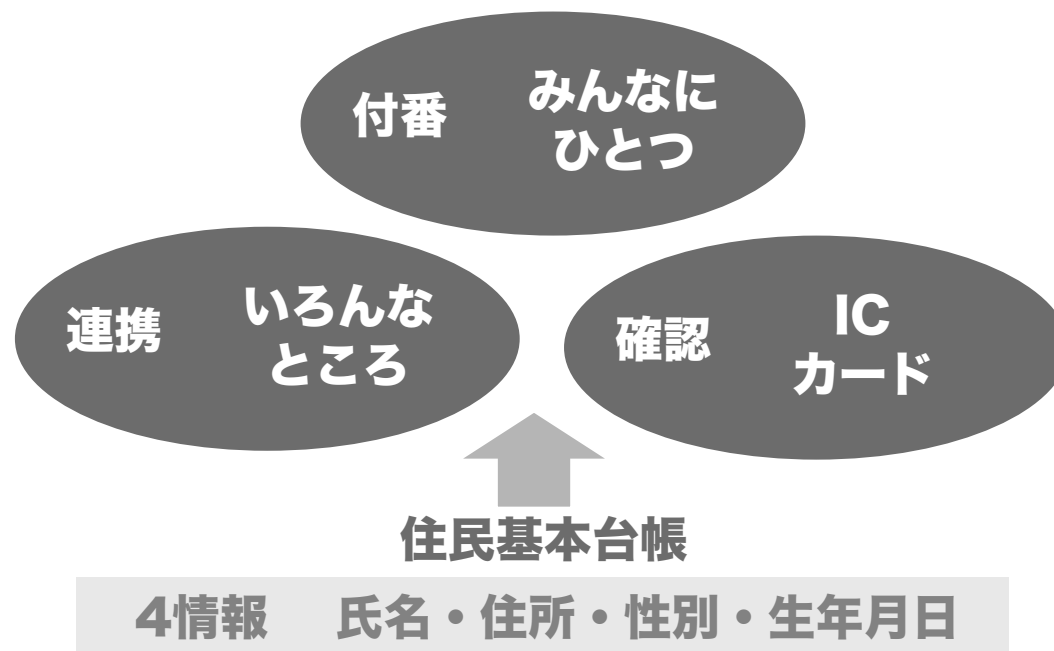


わ
か
る
？

参考資料

- ・ どうなる？どうする！共通番号 森信茂樹 小林洋子
- ・ 完全解説 共通番号制度 八木晃二
- ・ 共通番号（国民ID）のすべて 榎並利博
- ・ 内閣官房資料 <http://www.cas.go.jp/jp/seisaku/bangoseido/index.html>

■しくみは明らか？



※マイナンバー法案（2.14国会提出）

「行政手続きにおける特定の個人を識別するための番号の利用等に関する法律」
第3条（利用の基本）

- ・ **行政運営の効率化**及び**国民の利便性**の向上
- ・ 社会保障制度、税制その他の行政分野における
給付と負担の適切な関係の維持
- ・ 個人情報法令に定められた範囲を超えて利用され、
又は漏洩することがないよう、その**管理の適正**を確保

■ 2つのトラウマ

'85 **グリーンカード**廃止

グリーンカード制度（少額貯蓄等利用者カード）
非課税貯蓄（マル優）の仮名口座号施策:上限管理目的法制化
→ 郵政・金融業界反発
マル優自体が05に廃止



わざと不便に

'02 **住基ネット**稼働

国、自治体のみ使える = 民間利用禁止
ランダムな11ケタの数字 おぼえにくい（わざと）
住民基本台帳カード 2011末で621万枚 国民の5%

■ 2つの人災

'07 消えた**年金**5000万件

できなかった照合・名寄せ



でもやはり必要

'08 **定額給付金**経費850億円

リーマンショック→定額給付金 1人12000円
全国民の所得が捕捉できないため所得制限がかけられず

■効果は明らか？

1 きめ細かい社会保障給付

- 給付つき税額控除
消費税引き上げの逆進性対策
低所得者への減税+給付
税と社会保障を一体に捉える

2 自己情報の確認

- 災害時本人確認・・
2011年 震災の見舞金給付
身元確認手段がなく金融機関の作業に支障
弱者にとってのセーフティーネット

3 負担軽減・サービス向上

- 添付書類削減
結婚・妊娠・出産 →平均21種類
引越 →最大13種類
確定申告：源泉徴収票、領収書→マイ・ポータルで

税・社会保障で十分な効果？



■不安への対策は不足？過剰？

番号制度導入により
国家によって監視・監督される

46.9%

偽造やなりすましによって、
自分の情報が他人から
のぞき見されたり不正利用されたり
するのではないか

36.7%

自分に関する情報が
漏洩しやすくなるのではないか

27.0%

内閣官房調査2011.3



目的外の個人情報の収集・保管禁止
個人情報へのアクセスを確認できるマイ・ポータル
第三者機関による監視・監督

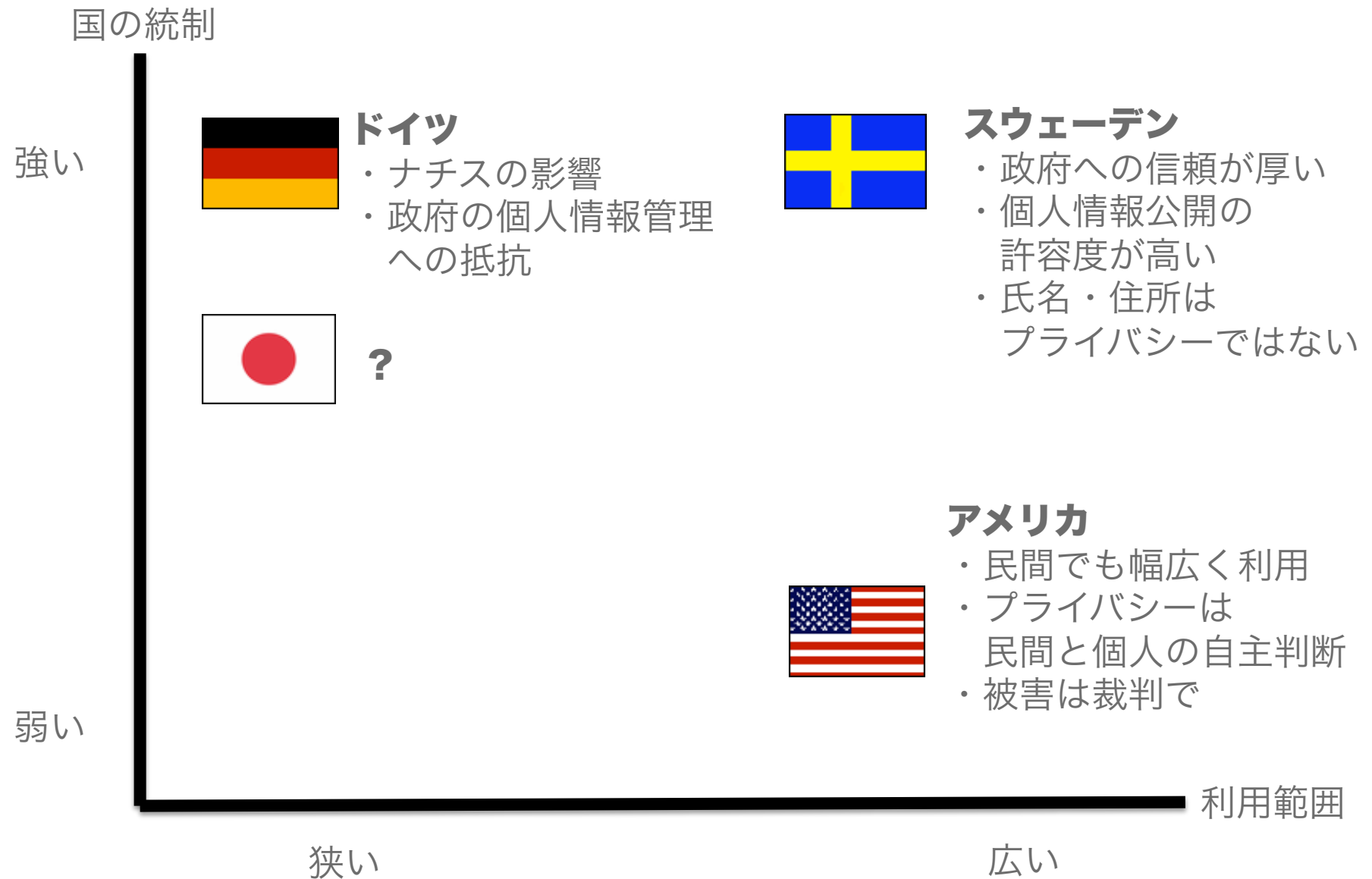
※ 個人情報保護の過剰反応

緊急連絡網が作れない

事故で搬送された人のリストを病院が警察に教えない

行政が民生委員に情報を渡さず虐待家庭のフォローができない

■日本はどのモデル？



■便利vs怖い 公開vs保護

